

第1回 学校評価アンケート（7月実施）結果より

アンケートの結果から以下のようなことが明らかになりました（数字は肯定的な意見の割合です）。

① 自分に合った勉強法の工夫をしている。

保護者	50.7%	生徒	78.6%
-----	-------	----	-------

→ 「そう思う」「おおむねそう思う」と回答する生徒の数は、約8割となっていますが、同回答は保護者の割合としては5割にようやく届くというものでした。生徒自身は「自分に合った学習」をしていると思っても、具体的に何が「合っている」のかが保護者にとって認識しづらい状況にあると考えられます。授業で学習した内容を家庭での学習習慣につなげ、かつそれが具体的にどのような学習を通じて行われているのかが見える化できるように、単元ごとの学習カードや定期考査時の学習計画表の活用や質問教室等の実施を通して、一層充実させていきます。

② 学校ははじめがなく、安心して楽しく過ごすことができる。

保護者	71.6%	生徒	81.8%
-----	-------	----	-------

→ 「そう思う」「おおむねそう思う」と回答する保護者の数が7割、生徒の数が8割を超えています。「安心して学校に通えている」と思う生徒が多くいる一方で、保護者としては「あまりそう思わない」「そう思わない」という否定的な回答が2割を超えているという現状も存在します。深い生徒理解に基づく生徒指導を推進し、いじめ撲滅と予防に向け、毎月アンケートを行い、情報収集と早期の対応を図り、保護者との綿密な情報共有を行っていきます。「西東京あったか先生」の取り組みを推進し、人権について考える機会を設けていきます。また、「生活指導だより」などを通じ、学校の生徒指導状況を定期的に保護者に向けて発信していくことを継続していきます。

③ ボランティア活動や地域の活動に対して、興味があり、参加しようとしている。

保護者	48%	生徒	62.8%
-----	-----	----	-------

→ 「そう思う」「おおむねそう思う」と回答する割合が、生徒、保護者とも全ての設問のなかで最も少なかった質問です。地域からのボランティア活動の依頼が増え、生徒がボランティア活動や地域の活動に参加できる機会が多いものの、実際に参加する割合は一部に限られているという現状があります。校内でのボランティア的な活動の取り組みを充実させ、さらに社会と関わる姿勢や社会に貢献する意欲や態度を育成していきます。また、朝礼やお昼の放送などを通じてボランティア活動の報告を行い、参

加する生徒を増やしていくような啓発活動を継続していきます。

- ⑤デジタル技術（タブレット、P C、スマホなど）を使用するときには、使い方のきまりやS N S田無第一中学校ルールを守り、メディアバランスを意識することができている。

保護者	64.3%	生徒	88.9%
-----	-------	----	-------

→ 「そう思う」「おおむねそう思う」と回答する生徒の数は、8 割を超えていますが、保護者の数は約6 割に留まっています。D C教育の取り組みを通して、生徒が自身のメディアに対する意識を見直し、よりよいデジタル技術の使い方を一人ひとりが考える機会が増えていきました。実際にデジタル技術を使用する際にも学んだことや考えたことを反映させていくことができるように、使用状況の振り返りを促していきます。今後も、継続的なD C教育の取り組みを通して、自他を尊重し、未来を豊かにできる生徒の育成を図っていきます。